



本気の力、高め合う心

校長 海發 真一

体育祭が6月3日（土）に行われました。体育祭実行委員の生徒による企画・準備、当日に向けた学年練習等と生徒の種々の取組を見て、学校行事に向けて自主的に行動できる様子はさすが田高生だと大いに感心したところです。体育の授業での行進練習や早朝、放課後の自主練習では、リーダーとなる生徒の声かけや、グラウンドで温かく見守る先生方の目線が、生徒の士気を一層高めました。

今年度の体育祭スローガンは、生徒が考えてくれた「完全燃焼—十人十色の田高 color—」で、707人の生徒が707色を輝かせ、グラウンドを田高カラーいっぱいに彩ってくれました。また、生徒一人一人が本気で競技に挑む姿勢や心をひとつにして互いに協力する態度は、来校くださった方々に大きな感動をもたらしました。

私も生徒が自主的に体育祭を運営し、競技に本気で取り組む姿勢や仲間と協力する態度を見て、「田高生は大きく伸びる」と強く確信しました。

高等学校学習指導要領には教科の他に特別活動という領域があり、その学校行事の目標には、「学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」と記されています。

教科と特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事）、部活動は車の両輪の関係で、ともに大切な教育活動ですが、特別活動には、望ましい集団が個を育み、個の成長が望ましい集団を形づくるといった、双方向の大きな機能があります。田高にはまさに望ましい集団があり、個々のすばらしい生徒がいますので、その相乗効果でよりよい集団が形成され、またその集団によって、生徒一人一人の資質・能力が大きく向上するのだと思います。私は、田高がここ数年、大きく伸びている理由がこんなところにあると考えています。

「受験は団体戦」という言葉をよく耳にしますが、受験には学校やクラスの雰囲気がとても大切だという意味です。受験は当然一人で行うものですが、一人一人の生徒が受験勉強に本気で挑むとともに、同じ志（こころざし）をもつ仲間が互いに協力し高め合う雰囲気をつくっていくことが大切です。先ほどの特別活動の例と同様に、生徒一人一人の本気さが互いに切磋琢磨する集団をつくり上げ、また、その集団の力、適度な緊張感をもつ雰囲気が一人一人の士気を高めるという相乗効果が大きな力となっていくからです。

田園調布高校には、互いに励まし高め合う仲間がいます。文武両道を実践し、勉強、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、部活動に本気で取り組むことで集団の力、自らの力を伸長し、仲間とともに大きく成長してほしいと願っています。



試合に勝つ、受験を制する ～運命に守られていたナポレオン～

副校長 牛込 俊裕

試合に勝つ、受験を制する、こうした場面で結果を左右するのは何でしょうか。

私の専門は工学、大学では触媒化学を学び、社会人入学した大学院では新素材の開発を研究しました。化学の面白さや醍醐味は今後お伝えするとして、ここでは趣味の読書で得た内容を基に伝えます。

1798年、ナポレオンは48隻の軍艦と280隻の輸送艦からなる大艦隊を率いてツーロン港を出発しました。以下詳細はみなさんが授業で習うところですが、彼の後をネルソン率いる英国艦隊が追跡していました。海

上での戦闘能力では後者に軍配が上がる中、突如として暴風が吹き、ネルソン艦隊は大打撃を受けました。また、ナポレオン艦隊がマルタ島に停泊時は濃霧により追跡が遅れました。ナポレオン艦隊は進路を正確に予測し、急迫中のネルソン艦隊をかわしました。こうした奇跡的な運命がこのとき三度も起こりました。運命はナポレオンの下僕のように忠実でした。

風は勇者の念ずる方向へ吹く。運命の星は、ナポレオンの頭上に燦然と輝いているようでした。そこへ突然、全ての希望を吹き飛ばす通知が来ました。ネルソンはついにアブギール湾でフランス艦隊に追いついたのです。艦隊を失ったナポレオンは、補給を絶たれて敵中に孤立しました。これは「世界精神」同士の意志力の決闘でした。

風は勇者の念ずる方向へ吹く。ここぞというとき必要な力、それを表しているように思えました。

進路指導部より

進路指導部 駒場 晃

昨年度の進路状況について

今春卒業した65期生の進路決定状況を報告します。

	大 学	短 大	専門その他	就 職	未定・浪人	留 学	計
男 子	80	0	8	0	30	1	119
女 子	67	6	8	3	24	1	109
計 (%)	147 64.5%	6 2.6%	16 7.0%	3 1.3%	54 23.7%	2 0.9%	228

4年制大学現役合格者の受験形態について

	指定校推薦	公募制推薦	AO	センター	一般	計
男 子	2	1	2	78	156	239
女 子	10	5	1	53	118	187
計	12	6	3	131	274	426

詳しくは、後日配布の「SUCCESS！」をご覧ください。

29年度入試は、大学入学定員厳格化と首都圏主要大学の人気上昇により、現役生にとっては非常に厳しい入試となりました。そんな中、本校65期生は最後の最後まで頑張りぬき、GMARCH合格者数が2000年以降過去最高を記録するなど、好結果を残すことができました。特に、基礎基本がベースのセンター試験で高得点を取った生徒が多く、センター試験利用入試での健闘が光りました。

3月に現3年生対象に行われた「先輩の体験を聞く会」では、卒業生が、「目標を落とさないようにしてください。」「授業を大切にしてください。」などと強調していました。

また、4月に行われた進路希望調査では、各学年ともに4年制大学志望者が90%を超える結果となっています。この進路希望を実現するためには、充実した学校生活だけでなく、ご家庭での規則正しい生活と計画的な家庭学習が必要不可欠となります。ホームルームや進路指導部の掲示物等で指導して参りますが、ご家庭におかれましてもご指導のほど、よろしくお願いいたします。

平成29年度体育祭を終えて

生活指導部 荻原 秀明

体育祭当日6月3日、初夏のように日差しが眩しく仰げば青空の中、体育祭が開催されました。今年のスローガンは「完全燃焼~十人十色の田高 color~」です。

体育祭実行委員会の仕事に焦点を当てたいと思います。各クラス2名合計36名で構成されています。係には、委員会や部活動が割り当てられています。

準備は4月下旬に選手選出が始まります。今年は、競技練習を5月8日から始め（朝練7:30~8:15、放課後練14:30~15:30）学年ごとに割り当てました。多くの生徒が練習に参加しています。同時期に、

学年ごとのパネル製作者を募り、中庭にテントを張り作業をしました。得点掲示は、足場を組み高いところに掲げるなど工夫を凝らしました。放送は、アナウンス原稿、BGM 選びに力を入れました。審判・用具・招集は、打ち合わせを綿密にして進行が遅れないように、準備をしました。一か月半に及ぶ準備が終わり、いざ本番です。体育祭での「感動」のために、準備に力を注いだと言っても過言では無いでしょう

準備に力を注いだ諸君に「君たちの力が体育祭を支えました。ありがとうございますお疲れ様」

そして、体育祭に参加した全員に「完全燃焼を見ました。『感動』をありがとう。」



スタディキャンプと体育祭を終えて

第1学年 手塚 登

68期生が入学して、早くも2ヶ月が経ちました。最初は、緊張気味だった生徒たちも、授業や部活動・学校行事を通して徐々に田園調布高校になじんできたと思います。

4月27～28日にかけて茨城県潮来市で行われたスタディキャンプ（勉強合宿）では、「勉強方法と高校生活の過ごし方」について、講師に井東瞭先生を迎えて講演をして頂きました。また、実力テストの振り返りをしたほか、限られた時間の中で自分が計画を立てて学習に取り組み複数の課題をクリアするという、これからの学校生活で必要とされる勉強の仕方を体験しました。短い時間ではありますがクラスごとの佐原散策もあり、今後につながる充実した内容になったと思います。この行事を通じて、自ら計画的に学習することの大切さを生徒は学ぶと共に、共同生活を通してクラスと同級生同士の絆を深めました。

さて、6月3日(土)には体育祭が実施されました。中間考査を間に挟むなか、最初の大きな学校行事に向け、1年生は朝練習・放課後練習にみんなで行いました。学年が制作するパネルについても、最初は手を挙げる生徒がなく心配されましたが、再度の呼びかけに最終的に19名の生徒が名乗りを上げてくれ、遅れたスタートながら多くの人の協力の下で何とか満足のいくパネルを完成させることができました。当日は、学年種目である「全員リレー」や「ジャンプ! jump!」「ホップ・ステップ・シュート」を始め、他の学年と合同で「イントゥザハリケーン」「ケルベロス」などに一生懸命汗を流しました。



来年は、行事でももっと積極的な役割を果たすことが求められると思います。ぼろにあ祭・合唱祭といった行事を通じて、大きく成長してゆく68期生になって欲しいと願っています。

学校の中核として

第2学年 吉田 宣浩

平成29年度が始まって、はや2ヶ月。67期生もいよいよ第2学年という、高校生活の中核を担う学年となりました。早速の学校行事である「横浜遠足」では、朝の集合場所に遅れる人が続出、ため息混じりに最後の集合場所である山下公園に行くと、朝の反省からかほとんどの人が早めに集まっていて、担当としては悲しいやら嬉しいやら、の一日でした。修学旅行ではしっかりとした集団行動をお願いしたいものです。

さて、6月4日は絶好の天候の中、体育祭が行われました。2年女子の学年種目である「棒引き」では、1本の棒を巡ってヒートアップ、二種目目にしてすでに体操着が泥だらけになっていました。2年男子の学年種目である「綱引き」も白熱、勢い余ってひっくり返る人も出て、ここでも体操着は真っ黒に…。午後はリレーが目白押し。特に、男女混合・学年クラス別リレー決勝では、2年生の2チームが優勝、準優勝を独占し、2年生は大盛り上がりでした。結局、三つの学年がバランス良く得点したB組が優勝、おめでとうございます。2学年を担当して下さった実習生の皆さんも、お疲れ様でした。また、準備や当日の係分担など陰ながら頑張ってくれた人も大勢いました。皆さんありがとうございます。次はぼろにあ祭、頑張っていきましょう！

かけがえのない仲間との絆が深まった最後の体育祭

第3学年 遠藤 浩司

今年の体育祭も天候に恵まれ、66期生最後の体育祭は無事終了しました。終わった後の生徒の顔は清々しく、得たものも多い行事となったと思います。行事の中心となって、頑張ってくれた生徒会長と体育祭実行委員長の言葉を紹介します。

1週間ほど前の天気予報では雨予報も出ていて、開催が心配された体育祭ですが、当日はまさに体育祭日和と言える天気でした。

私たち3年生にとっては、人生で最後の体育祭になりました。私は、運動が苦手ということもあって足を引っ張ってしまったり、ゼッケンの紐の長さが足りずに先生に長さを調節していただいたり…ということがありました。

体育祭当日は、どのクラスも盛り上がり、迫力のある熱戦が繰り広げられていて、「これぞ青春!」というような思い出をつくることができました。私自身も、心から楽しみ、本当に充実した一日にすることができました。それは、運動が苦手な自分ではありますが、苦手なりに全力で取り組み、かけがえのない仲間との団結や絆を深めることができたからだと思います。

最後になりますが、体育祭の開催にあたり、きめ細かな準備をしてくれた実行委員をはじめとする田高の仲間、そして、様々な支援をしてくださった先生方、保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

3年生徒会長 河上 祐真

天候に恵まれ、良い環境で体育祭当日を迎えました。生徒も準備の段階から熱心に取り組み、本番でも「完全燃焼～十人十色の田高 color～」のスローガン通り、1人1人の“色”の出た体育祭になったと思います。私は結果も含めて、悔しい思いが残っています。皆さんはどうだったでしょうか？1、2年生はまだ次があります。私のスピーチで言ったように私は周りに不可能と言われていることも諦めていません。みなさんも諦めないでください。今年の経験を来年に活かしてください。終わってみればとても楽しかった体育祭。周りの人にも楽しかったと言われて実行委員長をやってよかったと心から思います。来年度は今年を超えてください。後輩のみなさん、期待しています。

3年体育祭実行委員長 高塚 春希

次の行事はぼろにあ祭。体育祭で得たクラスの団結力を思う存分、演劇祭に活かしてほしいと思います。3年生は「受験」と向き合いながらも高校生活でしかできない体験に全力で取り組んでください。

経営企画室より就学支援金等申請のお知らせ

経営企画室

平成29年7月からの授業料に充当する就学支援金の申請時期になりました。6月上旬に生徒さんを通じて申請用紙をお渡ししています。申請される方は、住民税税額通知書か課税証明書等を添付していただく必要がありますので、お早めにご準備をお願いします。

1年生から3年生まで、申請・不申請にかかわらず書類の提出が必要です。
(奨学のための給付金につきましては、後日ご連絡します。)

また、今年度から給付型奨学金の制度が始まりました。学年積立金で支払いを行っている英語検定や勉強合宿等の費用について東京都から支出されるものです。給付対象となる世帯の条件や給付限度額等につきましては、就学支援金の申請書類と一緒に青封筒に入れてお配りしております。該当される方は申請書を6月28日までに提出してください。